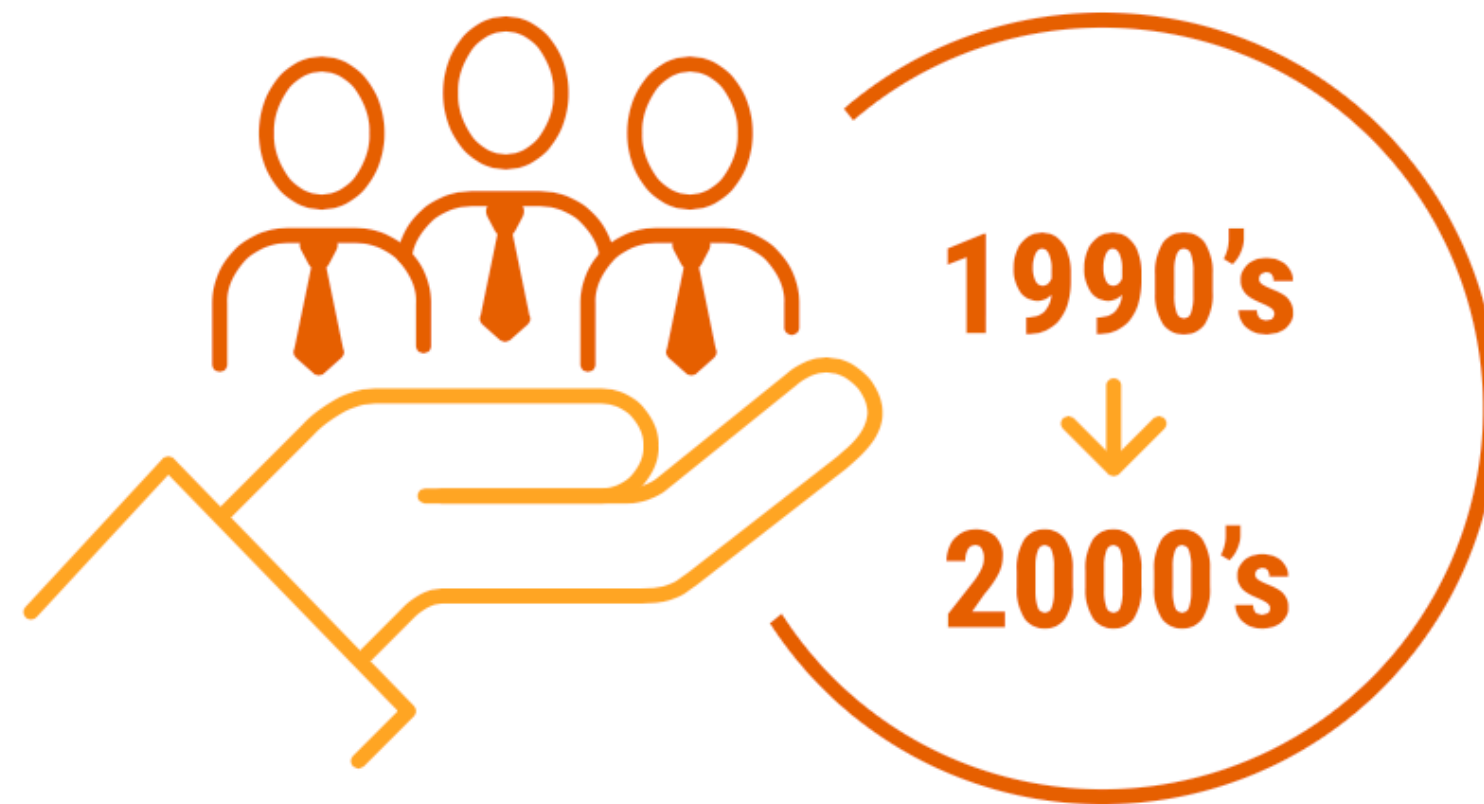


就職氷河期とは

1990年代～2000年代の雇用環境が
厳しい時期に就職活動を行った世代
を就職氷河期世代と呼ぶ。(厚労省)

大卒
就職率

2003年	55.1%
2023年	97.3%





伊藤たかえ (国民民主党 参議院議員)

@itotakae0630

令和6年度予算三案に関する反対討論で本会議登壇。

冒頭「私が就職活動で100社もの会社に落ちた1997年...」と話し始めたら、議長席(?)で吹き出す声や、議場から「100社はむごい」とか「オレ全部受かった」とか、笑い声や話し声が色々耳に入って来て動揺し、めちゃくちゃ噛んでしまう😓



午後9:16 · 2024年3月28日 · 850.3万 件の表示

593

7,112

1.9万

913



大きな反響があった 伊藤孝恵参議院議員の ツイート

寄せられた声の多くは
共感・励まし・嘆きなど
当事者の声が圧倒的



実態把握のためアンケートを実施

回答数

933件

アンケート方法

Googleフォームを使用し、4月15日～4月28日までの8日間で実施。拡散方法はX、Instagram、党公式ホームページでの記事の公開。

質問項目概要

- ・ 最終学歴となる学校を卒業した年
- ・ 雇用形態
- ・ 年収
- ・ 家族構成
- ・ 自身の就活について(自由記述)
- ・ 現在の暮らしにおける不安・課題
- ・ 政府が2020年から実施している「就職氷河期世代支援プログラム」について
- ・ 求める政策

回答者内訳

最終学歴となる学校を卒業した年

一般的な氷河期世代

1993年-2005年 78.8%

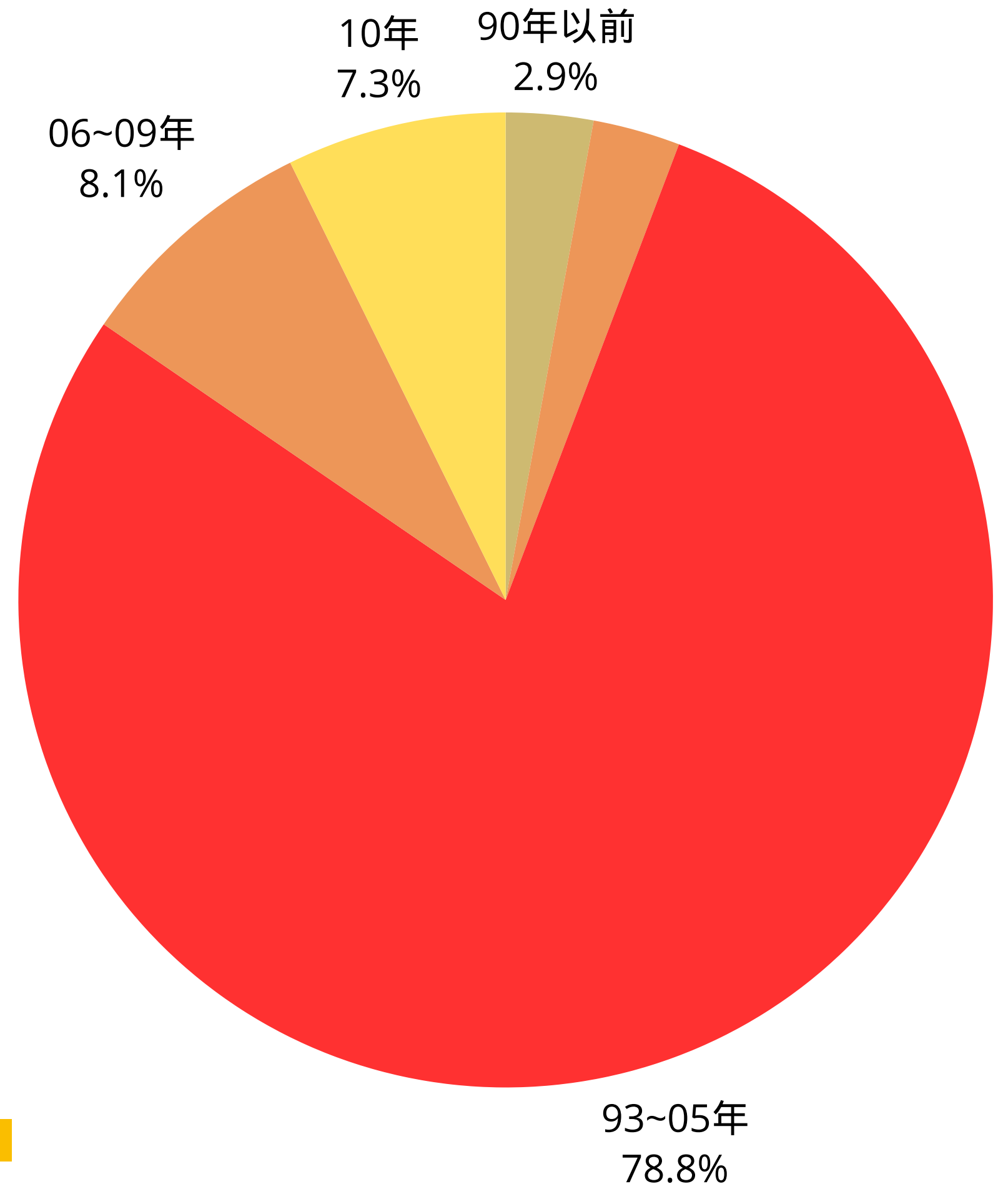
2006年-2009年 8.1%

2010年以降 7.3%

1990年以前 2.9%

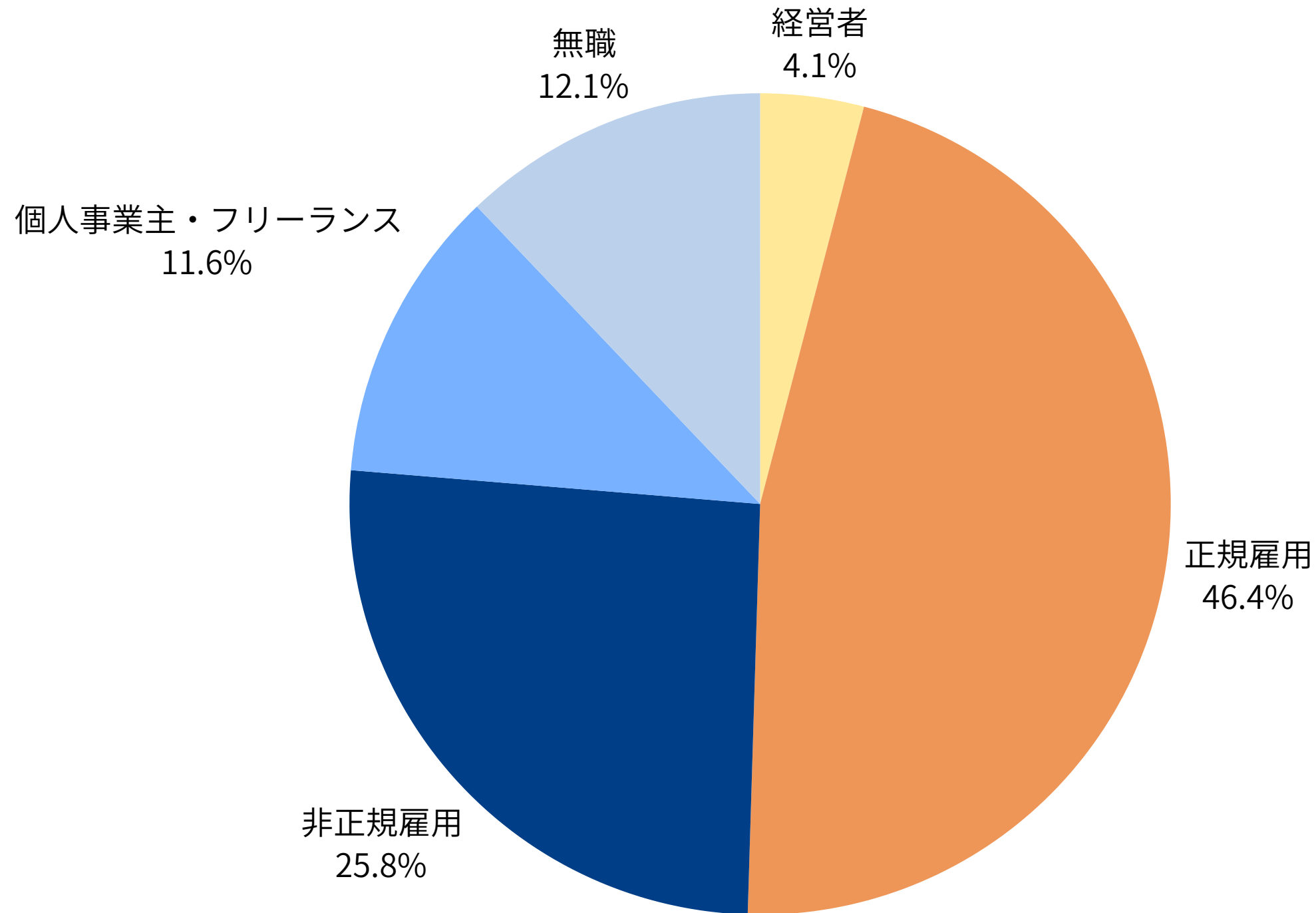
1991年-1992年 2.9%

**回答者の8~9割が
就職氷河期世代当事者**

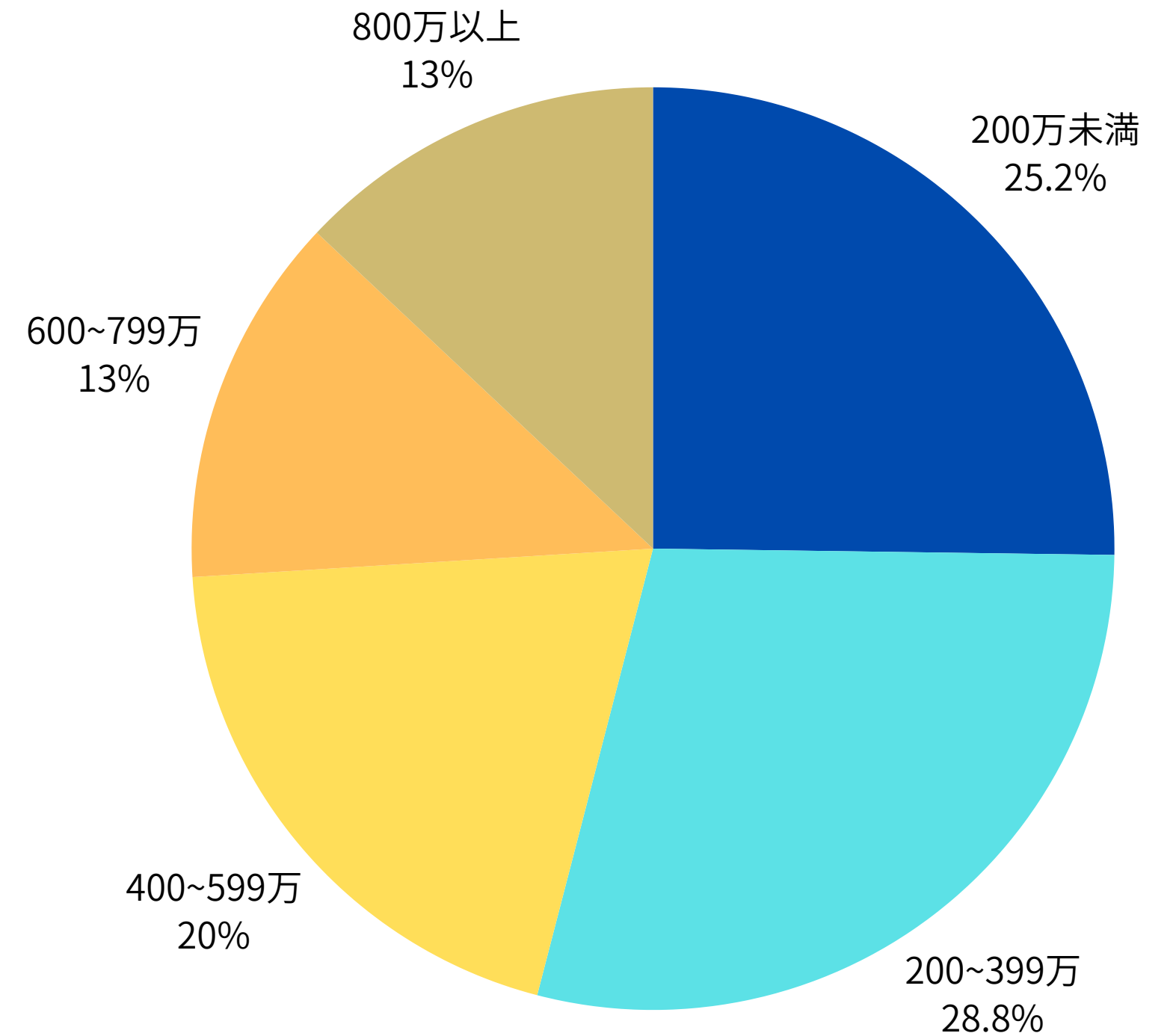


回答者内訳

雇用形態



年収



政府の氷河期世代支援プログラム

就職氷河期世代の方々が利用できる施設・施策

就職氷河期世代の方々が利用できる施設・施策について、ご紹介します。
就職氷河期世代支援プログラムについては [こちら](#)

実は
あった！

安定した職に
就きたい

働くための準備が
したい

生活に困りごとや不安を抱
えている

ご自身や御家族のひきこも
りのことで悩んでいる

スキルを磨きたい学び直
したい

地方での生活に興味がある

もっと社会で活躍したい
(女性)

公務員として働きたい

回答者内訳

政府実施の

「氷河期世代支援プログラム」について

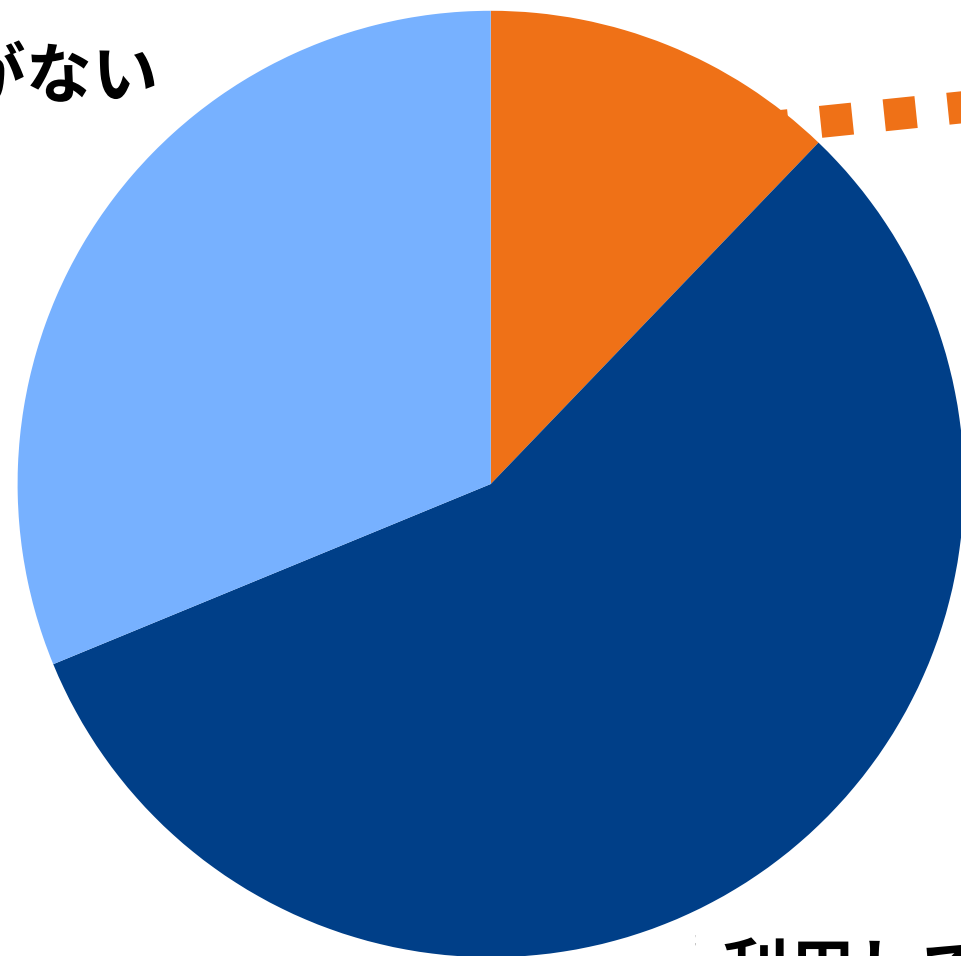
利用していない

聞いたことがない

87.8%

利用したことがある 12.2%

聞いたことがない
31.2%



利用していない 56.6%

繋がった 2.6%

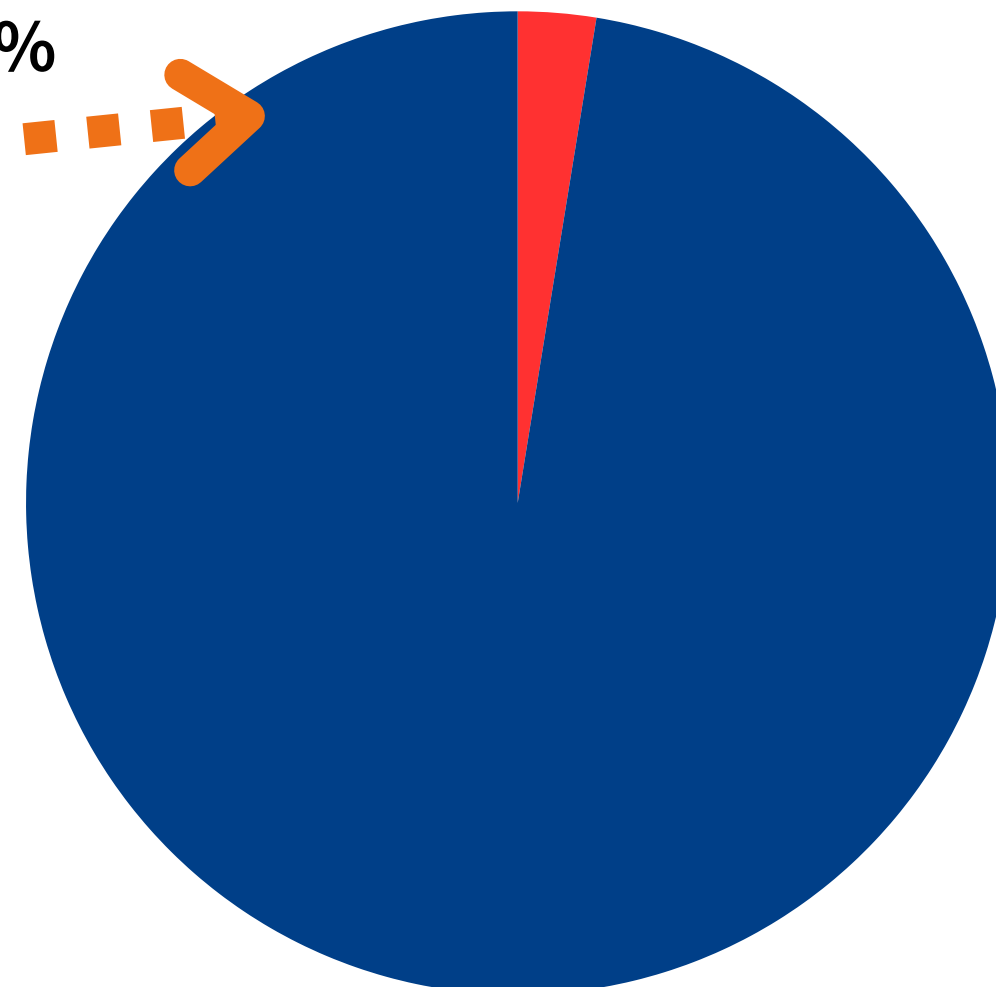
利用した結果

課題解決に

繋がったのは

わずか

2.6%



繋がらなかった 97.4%

**就職氷河期時代って
どんな感じだったの？**

当事者の声

**そもそも求人がなかったので、
受けたい会社にエントリーすること自体があまり出来なかった。
受けられたのは4社くらい。
超買い手市場だったので初任給が安かった。
3年後に入社した後輩の初任給と3年目の給与が変わらなかったの
で「どういうことですか？」と人事に質問したら「今はこのくら
い出さないと入社してもらえない。タイミングの問題」と言われ
たのは今でも忘れられない。**

当事者の声

新卒の頃は、エントリーシートを送ってもリアクションなし、会社説明会でも見下されるような状況でした。圧迫面接もセクハラも当たり前前の時代でした。そもそも大学の就職課に届く求人も少なく、競争率も高かったです。

教育大だったので、教員採用試験も狭き門で自分の専門科目は募集がなくて他県に出ていくのが当たり前でした。

100社以上応募しましたが、ほぼ案内すら来ず、説明会に参加してもその後の連絡がない会社ばかりでした。面接にすらたどり着けない感じで。

どうにか保険の営業に潜り込みましたが、残業代なしで夜中まで働かせる会社で心身を壊し、そこからずっと非正規で正規職にたどり着けませんでした。

当事者の声

大学卒業時に150社以上受けて一つも受からず、就職浪人から大学院へ進みました。

院を卒業して再び就職活動をしましたでしたが、結局見付かったのは派遣職員や契約職員といった有期の仕事だけです。

そのため、最長でも三年で雇い止めされ、転職転職と繰り返し、やっと常時人手不足の介護職で正規職員になれました。

当事者の声

出版、TVなどマスコミに入りたいと思って100社ほど応募するがすべて不採用。希望はしていなかったがOA機器の営業職になり以来営業職として数社を転々とする。

販売ノルマ未達によるパワハラやアルハラ、客からの暴言などは日常茶飯事。ある会社では退職勧奨なども受け、精神的にも追い詰められる。実績を積んだが、その時点ですでに年齢は30を超えており正社員登用を何度もお願いするも入社できず、周りの派遣仲間もスキルは上にも関わらず退社を余儀なくされていた。

**就職氷河期世代当事者は
今何に課題を感じ、
何を求めているのか**

当事者が課題に感じていること

結婚して、家族をもちたかった。父親がいなくなったら、1人になるのが不安。ただ都会に暮らしていると家賃が高くて、生活に余裕がないから、恋愛したいというより、日々暮らして行くのに精一杯で、自分1人の老後を考えてお金も使えない。

当事者が課題に感じていること

中途の一般職だけど給料は新卒で入ってくる総合職より安い。この給料と親の年金で生活中。父親が亡くなれば母親がもらえる年金はぐっと低くなるだろうから不安。もちろん自分の老後も不安ではあるけれど。そんな先より今のことしか考えられない状況。

当事者が課題に感じていること

老後の備えが不十分なうえ、結婚などで職を離れざるを得ず、また戻れる時期には親が介護年齢という状況です。

当事者が課題に感じていること

仕事が見つからずにお金がないので近々アパートを追い出されるんじゃないかと思う。厚労省が運営する氷河期世代向けのサポステというところにも就労相談したが何の策も出ずに相談をやめた。

当事者が課題に感じていること

氷河期世代向けというと、スキルがないことを前提に引き籠もり→正社員みみたいな募集ばかりですが、実際には非正規でありつつ、努力をして資格も持っているけれど、活かす場面にたどり着けないのがほとんどだと思います。(私もIT系の国家資格とかも取りました)

当事者が課題に感じていること

田舎に住む高齢の親、不登校の子供のケア、上がらないどころか下がる給料。新入社員や若手の給与アップの為に子育て世代の給料が犠牲にされている。

当事者世代の議員が新しい答えをつくる

就職氷河期世代政策 プロジェクトチーム 発足



田村まみ副座長

長友しんじ事務局長

伊藤孝恵座長

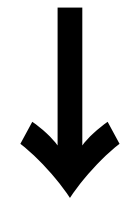
田中けん副座長

はまぐち誠顧問

 アンケート実施



当事者・有識者ヒアリング



政策へ